

# ESA に複数の証明書を適用し、それらを異なるインターフェイスまたはリスナーに割り当てることは可能ですか。

## 目次

### [はじめに](#)

[ESA に複数の証明書を適用し、それらを異なるインターフェイスまたはリスナーに割り当てることは可能ですか。](#)

## 概要

この資料に E メール セキュリティ アプライアンス ( ESA ) の多重 認証を加え異なるインターフェイスからリスナーに割り当てる方法を記述されています。

## ESA に複数の証明書を適用し、それらを異なるインターフェイスまたはリスナーに割り当てることは可能ですか。

Cisco ESA で、多重 認証をインストールし、リスナー 1人あたりに割り当てることができます。どちらかを使用して TLS 接続に個々のパブリックか private リスナーに GUI 証明書を割り当てることができます: ネットワーク > リスナーまたは CLI: `listenerconfig > Edit > 証明書`。

TLS 証明書を GUI によって割り当てるために、リスナーを作成するか、または編集した場合ほしく、入り、選択して下さい変更を証明書 セクションで保存して下さい証明書を。

証明書を CLI によってリスナーに割り当てるために、次の手順に従って下さい:

1. 設定したいと思うリスナーを選択するのに `listenerconfig > Edit` コマンドを使用して下さい。  
。
2. 利用可能な 証明書を見る `certificate` コマンドを使用して下さい。
3. プロンプト表示された場合リスナーに割り当てたいと思う証明書を選択して下さい。
4. 終了するときリスナーを設定します、変更を有効にする `commit` コマンドを発行して下さい  
。